

広報 2019

ちのち Chino City

令和元年
No.901

7月号

特集 小泉山

【今月の表紙】

表紙の写真は、小泉山で行われた山開きの様子です。
小泉山は「こずみやま」と読みます。ですが同じ字で地区は「こいずみ」。どうして小泉山は「こずみ」と読むのでしょうか。今号ではその謎に迫りました。

小泉山

こずみやま？こいずみやま？

茅野市のほぼ中心に位置し、

豊平、玉川両地区にまたがる

小泉山。「子どもたちの自然

体験の森づくり」を合言葉に、

地域の皆さんと子どもたちが

一緒に創った体験の森として

親しまれています。

皆さんは、この「小泉山」を

何と呼んでいますか。

こずみやま？

こいずみやま？

正しい読み方は「こずみやま」

です。

でも小泉区の読み方は「こい

ずみ」です。

どうして山は「こずみやま」、

地区は「こいずみ」なのでしょう

うか。



小泉山の読み方の由来について、小泉山体験の森創造委員会史跡部会の牛山友晴さんから話を伺いました。

人の名前が由来!?

読み方を調べると、古代の頃にまで遡ります。

小泉山西山裾に古墳に似た小丘があり、北にあるのが糖塚、南にあるのが米塚と言います。糖塚、米塚の門のところに長者屋敷という屋敷があり、大須美、小須美という兄弟が住んでいたと伝えられています。この兄弟の名前が「こずみ」の由来ではないかと考えられるとのこと。

小須美から小住・小泉へ

少しずつ変化した表記

その後、ある時に小須美から小住へ変化したと言います。

(その変化に関しては明らかにできませんでしたが。) 小住から小泉へと変化したのは江戸時代末期から明治維新の付近だと考えられています。古い資料には



牛山友晴さん

「コズミ(小泉)」と表記されており、昔はこの字でも「こずみ」と呼んでいたことが分かります。

小泉という字を素直に読むと「こいずみ」のため、いつからか「こいずみ」と読む人が増えていったと言います。それが地名には反映され、地名は「こいずみ」、山は「こずみ」となったと考えられるのです。

「こずみ山」をみんなに体験してほしい

次ページには小泉山のマップを掲載しました。天気の良い日には富士山が見えたりもする小泉山。登るもよし、歴史に親しむもよし、そんな小泉山を皆さんもどうぞ体験してみてください。

小泉山にはオオムラサキの保護施設があるよ



オオムラサキ放蝶会

小泉山 各種イベント



山開き



みんなで風船に将来の夢とかを書いて飛ばしたよ!



元旦登山

【上古田の親水ゾーン】

上古田登山口の柳川沿いに整備しました。3箇所沼、大きな岩、柳川をながめる場所などがあります。ホタルやオオムラサキの里になればいいな。



小泉山体験の森 ガイドマップ



【狐の腰掛け】
輝緑岩の大きな自然石でハケ岳の噴火以前にできた。腰掛けた狐にばかされないように。



チゴリ(ユリ科)
チゴリは丘のような林内に5月上旬に咲きます。この植物の姿が、小さくて可愛らしいことから稚児ユリという名がつけました。白くてとても可愛いのでぜひ探してみてください。

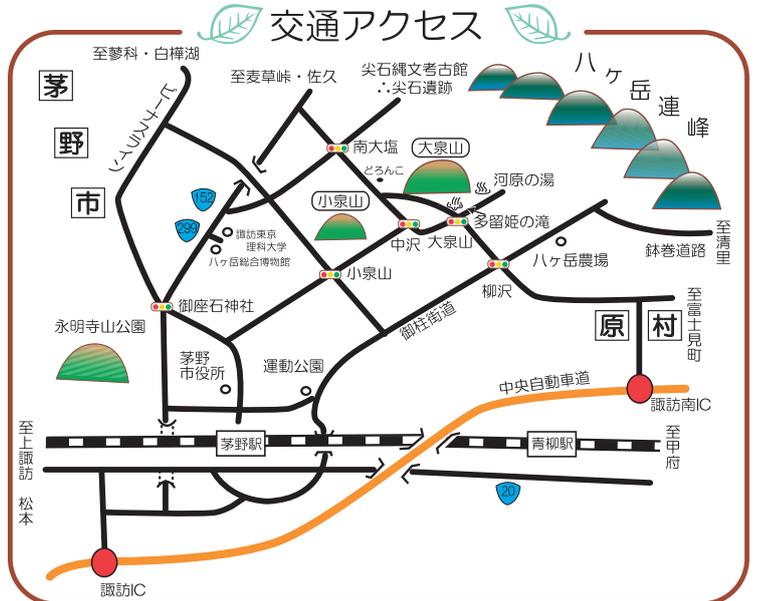


ヤマツツジ(ツツジ科)
5月～6月、小泉山の日当たりの良いところに色あざやかに咲きほこります。花はラッパのような形をしています。高さが1～3メートルのだけの低い木です。小泉山にたくさんある木です。



【食行身祿座像】

粟沢参道の七合目に祀られています。食行身祿は江戸時代の人物で、享保18年7月13日、富士山7合5勺にある烏帽子岩で入定(食を断ち、死に至ること)の偉業を果たしました。身祿の入定により江戸八百八町に富士講が生れ、富士登山が盛んになりました。





保育園・小学校の小泉山登山
 近くにある小学校や保育園では、毎年5月下旬になると小泉山登山をします。登山を通して、山のことを学んだり、他の学年の児童と親睦を深めたりしています。



【二本松】
 大阪夏の陣（1614～15年）に出陣した人が持ち帰って植えたといわれています。幹周囲3メートル、樹齢推定400年の赤松でした。（現在は根元のみとなっています）



【火とぼし】
 古くから子ども達によって传承されています。起源は虫追い、豊作祈願などの説があり、毎年6月18日・24日に行われています。



コナラ（ブナ科）
 コナラはドングリがなる木です。このドングリを使ってこまや、やじろべえなどを作ることができます。夏にはカブト虫やクワガタ虫がくる木です。花は4～5月にかけて咲きます。



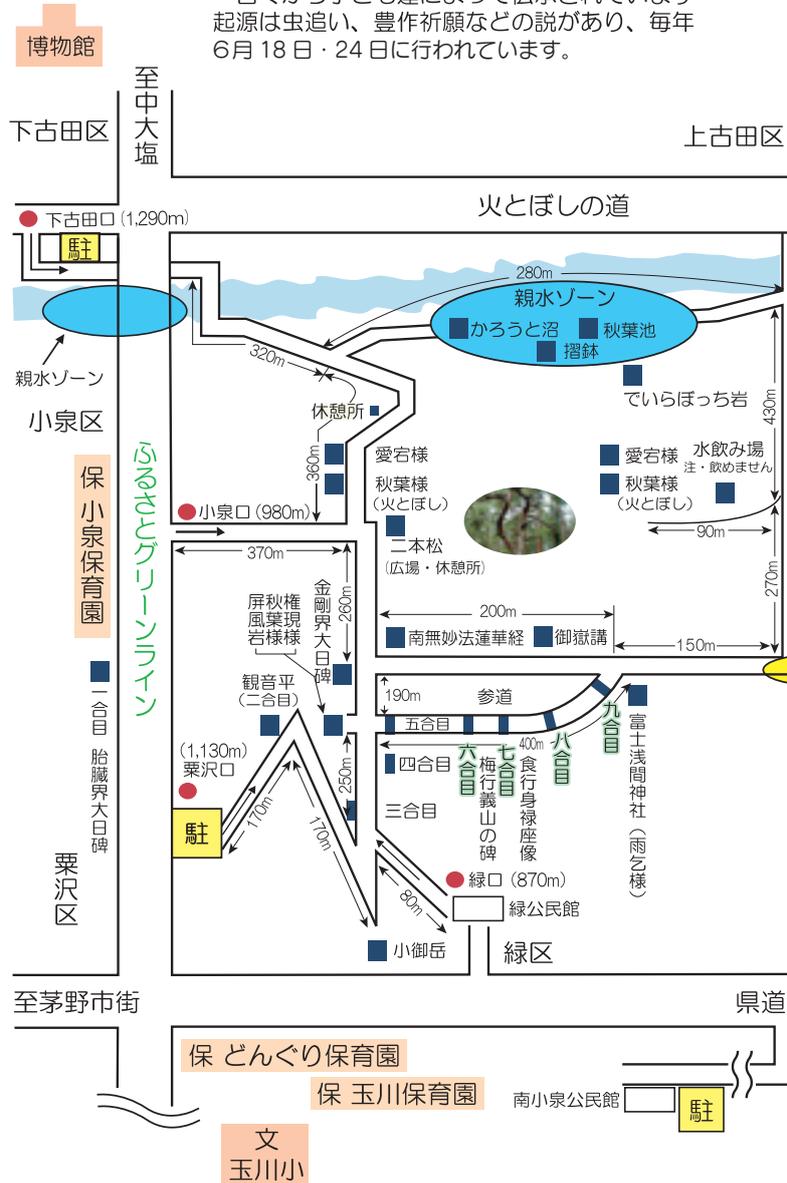
キイチゴ（バラ科）
 花は4月下旬ころに咲き直径約3センチで白くてかわいいです。6月になると直径約1センチの黄色くて丸い小さい実がなります。ちょっと甘くてとても美味しいので食べてみてください



ウワミズザクラ（バラ科）
 小泉山には色々な種類の桜がありますが、その中でも最後に咲く桜です。ふつうの桜とちがって、ぶさ状に白い花が咲きます。花の咲く時期は5月上旬です。



【富士浅間神社】
 元和六年（1620年）富士山頂の噴火口に見立てて神社を祀る。直径4メートル、深さが2メートルあります。



↑動画はこちら

茅野市インターネット動画番組サイト「ビーナネット Chino」では、今回の特集と連動し、小泉山体験の森を実際に歩いた動画を配信中です。小泉山にこれから登ってみようと思う方や、登ったことがない方、登るのは大変という方も、登山者目線の映像なので、実際に登った気持ちになれるかも!?

下古田口、上古田口、中沢口の3つの登り口からのルートを紹介しています。

